

様式E (マニュアル様式)

政務活動費領収書等整理表

会派名: 無会派

報告年度: 令和 4 年度

項目	調査研究費・研修費・ <b>広報費</b> ・広聴費・要請陳情活動費・会議費 資料作成費・資料購入費・その他経費 (該当科目に丸をつけてください)
領収書等添付	

領収書

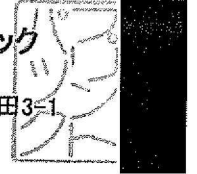
2022年10月02日

名張市議会 無会派 御中 幸松孝太郎 様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。  
下記の金額正に領収いたしました。  
何卒よろしくお願ひ申し上げます。

株式会社プリントパック

〒617-0003  
京都府向日市森本町野田3-1  
TEL 0120-977-920  
FAX 075-935-6890



お支払条件 コンビニ決済

納品場所 ご指定場所

御請求金額 54,730円 (税込)

納品期日 7営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
PAC31375031	品名: 活動レポートVOL. 53 B4 / 両面4色 / コート90 / 15,000部 / 加工1: トンボ仕上がり断裁 (ご注文サイズでお納め) 加工2:	1	54,730	54,730
合 計				54,730

特記事項

コンビニ店頭でお支払い時のレシートが、税務署で認められている正式な払い込みの証明書類となります。  
こちらの領収書が清算などにご使用いただけますかどうかは、お客様ご自身であらかじめご確認いただきますようお願い申し上げます。

$¥ 54,730 \times \frac{1}{8} = ¥ 6,841.25$

合計金額	18,243 円
------	----------

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。

※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。

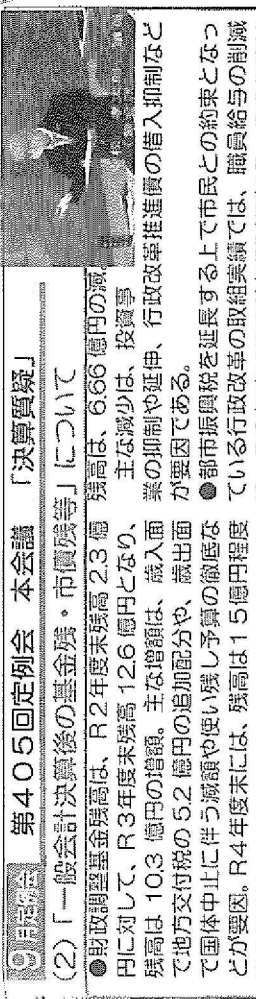


編集長 加藤 重雄

**明日の“元氣な名張づくり”「持続可能な重要市政政策」**

【本誌】名張の“子ども”最優先  
 ・子育て支援拡大（子育て費用・医療費・給食費・保育費の無償化・市立保育園を高齢者・障害者・児童など社会的弱者に手厚い利用を促す）  
 【本誌】名張の公共交通網の整備  
 ・交通ネットワークと生活基盤の整備と観光資源活性化による収益増加・企業誘致と地域経済活性化を推進し、税収増へ  
 【本誌】名張の財政再建  
 ・名張の財政再建

VOL.53 令和4年10月発行



編集長 加藤 重雄

第405回定例会 本会議 「決算質疑」

**(2) 「一般会計決算後の基金残・市債残等」について**

●財政調整基金残高は、R2年度末残高23億7,666万円となり、R3年度末残高12.6億円となり、減少額は、10.3億円の増額。主な増額は、歳入面で地方交付税の5.2億円の追加配分や、歳出面で国体中止に伴う減額や使い残し予算の徹底などが要因。R4年度末には、残高は15億円程度確保見込み。

●市債残高は、R2年度末残高約204.4億円に増加し、R3年度末残高約197.8億円となり、約6.6億円の減少となった。

●病院事業は、総収益が約59億円で、約4.95億円増加。総費用は約54.3億円で約4.79億円増加。2年度連続の黒字で純利益が約4.79億円とコロナ対応で公立病院の役割を果たした。

●水道事業は、給水人口や有収率増により、事業収益が減少し、4年度連続の赤字で△6401万円の純損失となり厳しい財政状況。

●下水道事業の経営状況は、R3年度から収益が把握でき、1.18億円の純利益となった。R6に生活排水処理施設の供用も予定。

**9月定例会 一般会計・特別会計の成果を審査後、認定！**

(1) 一般会計決算報告について 歳入337億円 歳出324.5億円 形式収支12.5億円

令和3年度の決算額と中期財政計画との比較表  
 昨年9月に策定した今後5年間（令和3年～7年度）の財源不足へ対応した「中期財政計画」をベースに増減率を算出。

◎お金はどこから入ってきたか(歳入の部)

項目	RW3年度決算額(億円)	中期財政計画(億円)	増減率(%)
市税	98.4	95.0	103.6%
分府金及び負担金	1.1	8.78	33.0%
使役料及び手数料	1.8	1.0	820.2%
国庫入・財産収入・寄附金	6.9	3.7	183.4%
雑入金	5.4	5.4	100.0%
国庫補助金等	121.8	113.9	106.9%
地方交付税	59.8	67.7	88.3%
交付金・国庫補助金	26.4	24.0	110.0%
国・県から(国庫支出金)	103.0	82.7	124.6%
借入金(市債)	26.0	14.9	175.0%
債券借入金	215.2	189.2	113.7%
合計	337.0	303.1	111.2%

◎お金は何に使ったか(歳出の部)

項目	RW3年度決算額(億円)	中期財政計画(億円)	増減率(%)
人件費	52.2	51.0	102.4%
扶助費	72.3	71.3	101.4%
公費	31.9	32.7	97.7%
義務的経費	156.4	155.0	100.9%
普通国庫等費	23.4	27.3	87.5%
投資的経費	23.9	27.3	87.5%
物件費	31.3	35.4	88.3%
義務的経費	2.4	2.6	91.3%
補助金	60.2	44.5	135.1%
雑入金	19.4	5.1	382.2%
繰上金	26.6	26.8	99.3%
国・県・国庫等	4.3	3.1	141.3%
その他の経費	144.2	117.5	122.7%
合計	324.5	299.8	108.2%

※R3年度決算は、前橋市長の20年間の総括とも言える実質収支が約12.5億円の赤字となり、単年度収支も約7.1億円と、前年度比3.7億円の増加。単年度実質収支も約17.4億円となり、大幅増加となった。結果は、過去の行財政改革の取組で、色々と削減してきた効果が出たもの。特に、国の財政出動によるコロナ関連交付金等の支障が大きく、赤字決算に繋がった。

Q.2 決算における財政指数や健全化判断比率について、改善した要因をお聞きしたい。

●実質公債費比率は、15.8%と0.2P改善したが、病院・水道事業など元利償還金が多いことや、交付税措置のない起債の借入割合が高いためこの比率が高い。将来負担率は、161.6%と18.1P改善した改善要因は、市債や病院事業の企業債の残高が減少したことや、職員退職手当の見込額が減少したこと、合わせて財政調整基金等の増加などが、要因となった。

市長からは、「こちらの指標は、過去に借りた地方債の償還が進むことから数値は改善していくが、施設の老朽化対策など新たな将来負担が生じることから、借入額が元利償還を上回らないよう、投資事業の縮減・延滞により市債の発行を抑制し、できる限り交付税措置のめり市債を活用し、将来への負債を縮減していきたい。」

**(3) 一般会計の決算報告について**

●医療収支は、給費でコロナ患者対応に要した時間外勤務手当等が増加し、材料費でPCR検査用の検査試薬等の薬品費が増加となり、医療費用が約2.5億円増加。入院・外来の一人当たりの診療収入が増加し、医療収入が約2.6億円の増収となり、前年度と比較して約829万の改善となった。

●経常収支は、医療外収支でコロナ空床補助金約9.08億円を受けただけ、一般会計からの財源処置が12.2億円と2.2億円増加したことから、約6.5億円の経常利益となった。経営と財務の健全性と効率性を分析した結果は、前年度より経常収支比率は8.4ポイント上昇し112.7%となり、医費収支比率も3.6ポイント上昇し89.3%と、経営比率や財務分析の指標も、すべて改善されたが、入院患者数1,423人や病床利用率66.4%に減少しており、R4年度以降も不透明であり、経営改善を要する。

**(4) 特別会計の決算報告について**

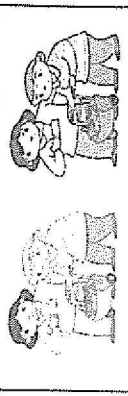
各特別会計の決算は全て黒字決算となった。●国民健康保険は、加入数・被保険加入者や受診控えにより、療養の給付等それぞれ減少したが、一般会計繰入金は、約5.8億円と前年より1,048万円増加。今後医療費の抑制と保険料の収入率の向上に注視していきたい。

●介護保険は、被保険者・介護認定者が増加したこと、サービス種別による増減がある。今後介護が必要となる高齢者の効果的な介護予防対策と介護サービスの向上に注視。●後期高齢者医療は、被保険者が増加している。規制制度を維持運営していくため、国・県と連携、協力を探る。

「名張市立病院在り方検討委員会報告」  
 令和3年度1月に検討委員会が設置され、5回の委員会が開催された経過は、5月第3回では、①運搬強化・役割分担、②市民の医療ニーズ、③在宅医療、④医師の確保、⑤経営改善について、各委員からの意見があった。7月第4回までの委員会では議論した内容は、①、在り方検討委員会における検討事項、②、医療圏及び市立病院の現状を踏まえ、市立病院が検討すべき課題、③、市立病院が果たすべき役割及び提供すべき医療機能、④、市立病院の医療提供体制及び経営形態、9月第5回では、市立病院の経営形態について、各委員の類似事例6市の地方独立行政法人を議論。

次回、11月の第6回委員会では答申の案を策定する予定。

国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療	住宅給付	住居給付	住居給付	合計
収入増額	33,228万円	176,659万円	18,552万円	10,116万円	831万円	199,387万円
支出増額	397万円	72,639万円	1,845万円	7,666万円	518万円	175,025万円
繰上金	1,476万円	2,769万円	495万円	815万円	599万円	4,164万円

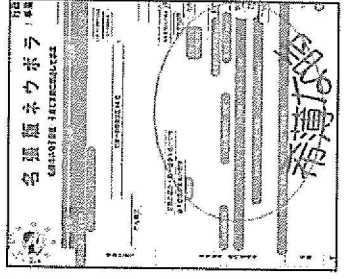


(1) 令和3年度一般会計決算質疑について

① 名張版ネウボラ事業の取組

先進的な名張版ネウボラ事業の取組について令和3年度の代表的な妊娠前・妊娠中・出産後など産後ケア事業の取組をお聞きしたい。

産後2週間目には産婦全数に保健師や助産師が電話をし、母と赤ちゃんの体調や育児状況の確認、新生児聴覚検査結果の確認、相談等の必要があれば教室等の紹介や早期訪問につなげ、産婦訪問は延606件。また、産婦乳腺炎予防おっぱいケア事業は、事業の案内葉書を送付し、乳房トラブルや授乳に心配がある人が、助産師への相談や乳房ケアを受けられるよう、1人1人1回の費用助成があり、利用は92名。産後助産師によるおっぱい・育児相談は、保健センターで週1回実施の「母乳・育児相談」は、45回208名が利用。武田産婦人科、森川病院、緑ヶ丘クリニックでの宿泊型産後ケアは、3組4件の利用があった。



② 相談者がいない高齢者へ、市の対応

令和3年の高齢者等実態調査によると「困ったときに身近に相談できる人がいない人が325人」もいるが、市の対応を問う。

実態調査の回答では、①相談者がいない②健康状態がよくない③介護サービス利用無し④まちの保健室を知らない⑤項目に該当する人、73人を抽出し、まちの保健室と地域担当保健師が情報共有し、優先的に訪問等で状況確認を行っている。SOSを発信しにくい高齢者に対して、民生委員や隣近所とまちの保健室や包括支援センターと連携し、普段から「つながり」が特に重要であり、支援を求める声を上げやすいシステムの充実を図る。

(2) 企業会計決算質疑「水道事業」について

① 4年連続の赤字決算

R3年度決算の総括とR5年度の財政状況の見直しをお聞きしたい。  
R3年度は、6400万円の純損失、R2:▲4900万円、R1:▲1900万円、H30:▲5200万円と4年連続の赤字。R5年度の財政状況も、給水収益の改善見込みの好材料はなく、非常に厳しく約2億6千万円の純損失の見込み。R5年度の決算も、給水収益の改善見込みの好材料はなく、非常に厳しいものとなっており、約2億6千万円の純損失の見込み。

② 水道DXの推進

当市の水道管の断水を防ぐA1等水道DXの考え方を聞きしたい。

近年、AI(人工知能)を活用した浄水施設の運転管理や管路の劣化予測、スマートメーターによる自動検針や漏水の早期発見に推進している。本市も、市民サービスの向上のため、人材が不足していく中、増大する業務に対応するため、こうしたIOT(モノのインターネット)やAIの活用は、業務の一層の効率化・省力化はもとより、業務を安定して継続するために、必要不可欠なものと考えている。水道DXの推進は、トータルコストを意識し、メリット・デメリットを比較検討しながら、継続した検討を進めていく。

1. 今後の市政運営の発展について

① 名張市自治基本条例の評価・検証

現行の名張市自治基本条例は、実効性を確保し、形骸化しないように評価や検証が必要と考えるが、市長の考え方を聞きしたい。

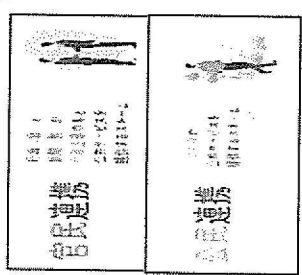


現行の基本条例をベースに新しい総合計画が、行政だけでなく、市民が参加、参画した中で進んでいくような仕組みを考えたい。実施の段階では、地域でワークショップとかワールドカフェとかをして、何のために何をやらなければならないかを改めて考えたい。検証も、行政ができた・できないだけでなく、市民参画の中で、どんな課題解決ができるか一緒に考えていく機会を作れないかなど、本条例の評価・検証を本市で実施していくことも含め調査・研究に努めていく。

② 官民連携・公民連携の推進

官民連携や公民連携の民間活力が不可欠ですが、他自治体のHPで取組み方を紹介しますので、この手法の導入でより高い事業効果が得られると考えるが、見解をお聞きしたい。

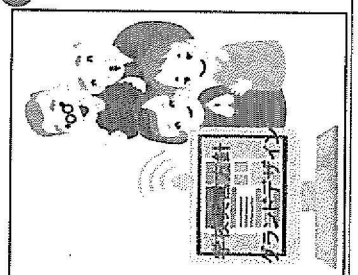
官民連携・公民連携を推進するにあたり、行政として課題解決に向けたハードルが何かなど具体的に整理することや、民間事業者の選定にあたり、単に地域課題を解決するノウハウや知見を有する理由で事業者を選定するのではなく、民間事業者との連携により、地域内での経済循環が図られることも考慮しながら取組を進めていく必要がある。また、地域が抱える課題を民間事業者が発信することが重要であり、現段階で専用窓口設置は予定していないが、包括連携協定など官民連携の協議を進める際には、各部署で課題の整理等を行い、民間事業者と直接対話を重ねていくことが重要と考えている。



2. 学校経営方針・小中一貫教育ブランドデザインについて

名張市小中学校の学校経営方針や小中一貫教育ブランドデザインなど重要な教育活動をHPに掲載しているが、学校によって差異があるが、教育長の考え方を聞きしたい。

学校経営方針等は、教育目標を達成するためにどのような学校経営を行っているか戦略を明らかにしたもので、毎年、校長が年度当初に作成し、全教職員で共有すると共に、学校運営協議会の承認を得て、この方針等に基づいて各学校の教育活動が行われており、小中一貫教育ブランドデザインは、具体的実践に取組んでいるもので、とても大変重要なもの。そのため、学校のホームページ(HP)の情報発信がとても大切と認識しています。今後は、保護者・地域のみならずにより信頼と協力を得るためにも、やはり、教育目標や大切な学校経営方針や学校経営計画などのページが魅力的あるものとなるように掲載方法であったり、表現方法であったり工夫する中で、よりわかりやすいHPとなるように改善を進めていきたい。



政務活動費領収書等整理表

会派名: 無会派

報告年度: 令和 4 年度

項目	調査研究費・研修費・ <b>広報費</b> ・広聴費・要請陳情活動費・会議費 資料作成費・資料購入費・その他経費 (該当科目に丸をつけてください)
----	--

領収書等添付

領 収 証 無会派幸松 様 No. \_\_\_\_\_

★ 15950-

但 抑込チラシ

2024年 10月 11日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

読売センター名張  
代表 長谷川光徳  
〒518-0604 名張市さつき台2-4-3  
☎ (0595)65-6366  
FAX (0595)65-2955

$$¥15950 \times \frac{1}{3} = ¥5316$$

領 収 証 無会派 幸松 様 No. \_\_\_\_\_

★ ¥9091-

但 折り込みチラシ: B4・2,850枚

2022年 10月 11日 上記正に領収いたしました

内 訳	税抜金額
	消費税額等( %)

収 入  
印 紙

FD-1097

朝日新聞サービスアンカー  
A S A 名張  
〒518-0752  
名張市蔵持町原出776-3  
☎ (0595)62-2630  
FAX (0595)62-2631

$$¥9091 \times \frac{1}{3} = ¥3030$$

合計金額

8346 円

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。  
※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。

様式E (マニュアル様式)

政務活動費領収書等整理表

会派名: 無会派

報告年度: 令和 4 年度

項目	調査研究費・研修費・ <b>広報費</b> ・広聴費・要請陳情活動費・会議費 資料作成費・資料購入費・その他経費 (該当科目に丸をつけてください)
----	--

領収書等添付

領 収 証 無会派 幸松 様 No. \_\_\_\_\_

★ 6,252  
但 1960枚  
R4年10月12日 上記正に領収いたしました

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

内 訳  
税抜金額  
消費税額等(%)

毎日新聞  
有限会社 嶋津新聞館  
代表取締役 嶋津一樹  
名張市瀬古口628-3 第1泉カイトマンション  
TEL・FAX 69-8423

領 収 証 無会派 幸松 様 No. \_\_\_\_\_

★ 2,552 -  
但 B4 800枚  
R4年10月11日 上記正に領収いたしました

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

内 訳  
税抜金額  
消費税額等(%)

毎日新聞  
有限会社 嶋津新聞館  
代表取締役 嶋津一樹  
名張市瀬古口628-3 第1泉カイトマンション  
TEL・FAX 69-8423

$$¥8,804 \times \frac{1}{3} = ¥2,934$$

合計金額

2,934 円

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。  
※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。

政務活動費領収書等整理表

会派名： 無会派

報告年度： 令和 4 年度

項	調査研究費 ・ 研修費 ・ <b>広報費</b> ・ 広聴費 ・ 要請陳情活動費 ・ 会議費
目	資料作成費 ・ 資料購入費 ・ その他経費 (該当科目に丸をつけてください)

領収書等添付

領 収 書

無会派 幸松孝太郎 様

¥5,431※

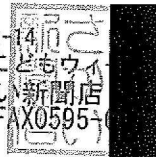
新聞広告折込み代として  
令和04年10月12日 上記の金額正に領収致しました。

¥5,431 × 1/8 = ¥678.875

内訳  
消費税

金額  
¥493-

〒518-0723  
三重県名張市木屋町1382-14  
中日新聞・中日スポーツ・子どもウイークリー  
名張専売店 さかい新聞店  
TEL0595-63-3362 FAX0595-63-3382



領 収 証

無会派 幸松 様

No. \_\_\_\_\_

金額

7,890.00

但 折込み代として  
2022年10月10日 上記正に領収いたしました

収入印紙

7,890 × 1/8 = 986.25

内 訳

現金

小切手

手形

消費税額等(%)

三重県名張市木屋町1386-5  
株式会社アサネットワーク  
代表取締役 伊集基之  
電話 (0595) 63 8939

コクヨ ウケ-72

合計金額

¥787 円

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。

※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。